

熊本放送 × もみじAI

放送業務DXに向けたシステムの共同開発を始動

～ 熊本にルーツを持つスタートアップと地方局が共創、突合作業の自動化へ ～

株式会社熊本放送（本社：熊本市、代表取締役社長：坂口洋一朗、以下「RKK」）と、株式会社もみじAI（本社登記：東京都文京区、代表取締役：江嶋宏優、以下「もみじAI」）は、放送局におけるCM素材管理業務の効率化と新たな価値創出を目指し、「CM進行表」と「放送運行表」の突合作業を自動化する新システムの共同開発に着手します。

現在、地方局を中心とした多くの放送現場では、広告会社から届くCM進行表（※放送するCM素材の指示表）と、それに基づき局でスタンバイしたCMデータ表との突合を、紙資料をもとに手作業で行っています。これは放送の正確性を支える一方で、その品質管理に多くのリソースを割いています。

今回の取り組みでは、AI-OCR技術と独自の突合ロジックを活用し、CM進行表と放送運行表の照合作業を自動で行う、新たな概念によるチェック体制を構築します。RKKが現場に即した要件を定義し、もみじAIが開発を担当。2025年10月から本格的な共同開発がスタートします。

もみじAIは、熊本大学発のAIベンチャーで、現在も熊本を中心に活動を展開しています。本プロジェクトは、地方放送局と熊本発スタートアップの連携により、放送業務の変革と地域からのイノベーション創出を目指します。

さらに、今回の「CM進行表 × 放送運行表」突合にとどまらず、番組素材や編成データ、送出記録など、放送局内に点在する他の突合・照合作業への応用も視野に入れています。これらの領域にも応用を広げ、放送現場のスリム化を進めるとともに、変革が求められる放送業界全体の価値創出につなげていきます。

両社は今後、RKKでの実運用を経て、同様の課題を抱える他局への展開も見据え、地方局DXと放送業界全体の業務革新を目指してまいります。

2025年10月28日

問い合わせ先：熊本放送 経営推進局 DX推進部
編成業務局 テレビ業務部